

二〇一六年二月七日 年間第五主日

第二朗読 1 コリント 15・1-11

一 兄弟たち、わたしがあなたがたに告げ知らせた福音を、ここでもう一度知らせます。これは、あなたがたが受け入れ、生活のよりどころとしている福音にほかなりません。

二 どんな言葉でわたしが福音を告げ知らせたか、しっかりと覚えていれば、あなたがたはこの福音によって救われます。さもないと、あなたがたが信じたこと自体が、無駄になってしまおうでしょう。

三 最も大切なこととしてわたしがあなたがたに伝えたのは、わたしも受けたものです。すなわち、キリストが、聖書に書いてあるとおりのわたしたちの罪のために死んだこと、

四 葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりの三日目に復活したこと、

11 ケファに現れ、その後十二人に現れたことです。

12 次ので、五百人以上もの兄弟たちに同時に現れました。そのうちの何人かは既に眠りについたにしろ、大部分は今なお生き残っています。

13 次ので、ヤコブに現れ、その後すべての使徒に現れ、そして最後に、月足らずで生まれたようなわたしにも現れました。

14 わたしは、神の教会を迫害したのですから、使徒たちの中でもいちばん小さな者であり、使徒と呼ばれる値打ちのない者です。

15 神の恵みによって今日のわたしがあるのです。そして、わたしに与えられた神の恵みは無駄にならず、わたしは他のすべての使徒よりずっと多く働きました。しかし、働いたのは、実はわたしではなく、わたしと共にある神の恵みなのです。

16 二とにかく、わたしにしても彼らにしても、このように宣べ伝えていられるのですし、あなたがたはこのように信

じたのでした。

12 キリストは死者の中から復活した、と宣べ伝えられて
いるのに、あなたがたの中のある者が、死者の復活な
どない、と言っているのはどういわけですか。

13 死者の復活がなければ、キリストも復活しなかったは
ずです。

14 そして、キリストが復活しなかったのなら、わたしは
ちの宣教は無駄であるし、あなたがたの信仰も無駄で
す。